

■ 本コースで使う主なテクニックと学習内容

■ 文法・構文簡単レビュー

推測に頼ったサバイバル英語を脱皮するには、どうしても必要な土台です。K/Hシステムでは、実戦で本当に必須な文法の基本ポイントと、英文の文の作り方の特徴を、頭でっかちでなく、簡単に噛み砕いてレビューします。本当に大事なポイントが何なのかがクリアになり、文法が怖くなくなります。英文を作るのも、身につけるのも今よりずっと容易になり、同時に、丸暗記でなく、応用のきく形で英文が身につくようになります。

■ 構文立体トランスクリプト

文法・構文レビューでの概念を利用して、現実の英文を英語の構造に即して視覚的・立体的に表した英文テキスト(トランスクリプト)です。これを練習時に常時使うことで、文の構造(構文)を見抜く感覚が自然に強化されます。それが、現場で、構文も文法も正確なスピーキング力・リスニング力となって現れます。

■ 構文を見抜きながら、文頭から意味をつかむ

英語の文は、結論的な情報をまず出してから(文型)、それに付随する詳細情報を付け加える(前置詞+名詞)という「文のつくり」になっていて、情報の順序に典型的な特徴があります。文法レビュー・構文立体トランスクリプトで学習した「英語の文の構造の特徴」をベースに、文頭から構文を見抜きながら意味をつかむ練習を行います。単に聞こえた単語で意味を推測するのではなく、しっかりと構文を追いながら、文頭から正確に意味をとらえていく聞き方へと「聞き取りのフォーム変換」を行います。実戦での聞き取りのためには、音の力と同時に、この力がもうひとつの大きな柱になります。

■ 英語のリズム・リエゾン クリニック

日本語的な音で英単語を覚えていたり、単語単位で英語の発音に慣れているだけであるために、知っている単語ですら聞き取れないという実にもったいない状況が多くの学習者に起こっています。英語は、何単語もつながった「かたまり」単位で音が連結し合い、弱強の大きなリズムで拍が刻まれる言語です。この英語の「リズム」と単語間の音がつながる「リエゾン」の感覚をつけることで、聞き取り力の大きな飛躍が起こります。

■ シャドーイング

最近では、多くの学習者に知られるようになってきた練習テクニックです。やり方は、英語を聞きながら、ほぼ同時にその英語を口に出して繰り返しながらついていくもので、音の聞き取りに非常に困難を感じるレベルから、同時通訳者のレベルまで、焦点の当て方次第であらゆるレベルの人に効果のあるテクニックです。

ただし、やみくもにシャドーイングを繰り返していてもなかなか成果がでません。シャドーイングで本当に効果をあげるための視点と練習方法を教授します。具体的な効果の例としては：

- ・ 聞き取り／理解力の本当の弱点の認識
- ・ アクティブボキャブラリーを増やすことで、スピーキング能力の強化
- ・ 英語の自然な音やリズムの感覚の体得